

## 南ア月報

(2015年5月)

在南アフリカ日本国大使館

主な出来事

### 【内政】

- ANCエテクウィニ大都市圏の地方党大会の延期
- マイマネ氏によるDA党首就任
- ネルソン・マンデラ・ベイ市長の交代
- e-tollsの改正
- ヌカンドラ問題に関する警察大臣による回答

### 【外交】

- ズマ大統領のエジプト訪問
- マシャバネ国際関係・協力大臣のイラン訪問
- ズマ大統領のICGLR特別サミット出席
- 第9回南ア・インド合同閣僚委員会
- マシャバネ国際関係・協力大臣による予算演説
- ズマ大統領のナイジェリア大統領就任式出席

### 【経済】

- 経済成長
- 雇用・失業
- 電力
- 原子力

## 1 内政

### ●ANCエテクウィニ大都市圏の地方党大会の延期

3日、ANCは、センゾ・ムチュヌ(Senzo Mchunu)クワズールー・ナタール(KZN)州首相兼州党委員長のスピーチ中における出席者からの妨害行為を受けて、エテクウィニ大都市圏の地方党大会を延期することとした。同地域党委員長選挙の場となる同党大会の延期はこれで4度目となる。度重なる延期はANC全国評議会(National General Council)の開催に深刻な影響を及ぼすと考えられており、同評議会に最多数の代表団を派遣予定のKZN州におけるANCの内部分裂を受けて、同評議会は既に当初予定されていた6月から10月に開催が延期されている。

### ●マイマネ氏によるDA党首就任

10日、野党民主連合(DA)は、9-10日にかけて東ケープ州ポート・エリザベスにて行われた党全国大会において、次期党首にムシ・マイマネ(Mmusi Maimane)氏が選ばれたことを発表した。執行部議長にはアソール・トロリップ(Athol Trollip)氏が当選した。マイマネ氏は自身の就任スピーチにおいて、DAが非人種差別主義を掲げていることを強調する一方で、アパルトヘイトが何百万人もの黒人の人生に影響を与えたことは事実であり、従ってDAも人種の違いに対して盲目で

いるわけにはいかないと主張。来年の統一地方選挙及び2019年の総選挙に向けて、これまで以上に黒人層の支持獲得に注力していくと語った。

### ●ネルソン・マンデラ・ベイ市長の交代

18日、ANC は、ヨルダーン(Danny Jordaan)南ア・サッカー協会会長をネルソン・マンデラ・ベイ大都市行政区の市長として新たに任命した。過去行われた統一地方選挙での同行政区におけるANC の支持率は、2006年に66.5%、2011年に51.9%と低化する一方で、野党民主連合(DA)は2006年に24%、2011年に40%と順調にその支持率を伸ばしてきており、来年の統一地方選挙では両政党による接戦が予想されている。今回 ANC が、伝統的にカラードの有権者が多い同行政区において、カラードであるヨルダーン会長を市長に選んだのは、低迷し続ける支持率を回復するための最後の試みとも見られている。政治アナリストは今回の市長交代について、ANCにとって良い広報にはなるものの、困難な課題が同会長を待ち受けており、来年の地方統一選挙までにどれだけ状況を好転させられるかが、今後の見所となるとしている。

### ●e-tolls の改正

20日、ラマポーザ副大統領はハウテン州住民に不人気の e-tolls(高速料金自動徴収システム)の見直しを行った。本システムについては、来年の統一地方選挙を控え、ANC ハウテン州支部を中心に同州住民への経済的負担を軽減させたいという要望があった反面、高速料金の徴収を通じて南ア道路公団(Sanral)の財政状況を支える必要性から、ラマポーザ副大統領は難しい舵取りをせまられていた。今回の見直しを受けて高速料金が半額になった一方、支払いを滞納すれば車輜登録の更新が不可能になるなど以前に増して強制的な徴収システムとなったことから、今回の決定は同州住民から強い反発を呼んだ。

### ●ヌカンドラ問題に関する警察大臣による回答

28日、ヌシュレコ警察大臣は、KZN 州ヌカンドラにあるズマ大統領私邸の警備対策のための国費が、プールやサッカーグラウンドなど本来の目的以外のアップグレードに使われたことに関しズマ大統領に国庫への返納を求める護民官の報告書に対して、回答(報告書)を提出した。同報告書において警察大臣は、大統領私邸のアップグレードはいずれも警備対策上必要であったことから国費の不正な流用には当たらないとして、ズマ大統領に国庫への返金義務はないと述べた。DAや経済的解放の闘士(EFF)といった野党は警察大臣による同報告書を激しく批判するとともに、本件を裁判所に訴えるとしている。

## 2 外交

### ●ズマ大統領のエジプト訪問

10日ズマ大統領は、第二次世界大戦終了70周年記念の祝賀式典に参加するために、ロシアを実務訪問し、プーチン大統領と二国間会談を行った。会談では、南ア・ロシアは政治、経済、社会、防衛及び安全保障分野で強力な協力関係を有することを確認すると共に、本年7月に予定されている第7回BRICSサミットの準備状況について協議した。両首脳は、貿易を含む様々な分野での協力関係を更に強化する必要性と、特に鉱業、エネルギー及び農業分野に於けるビジネスチャンスを更に調査する必要性について同意した。

### ●マシヤバネ国際関係・協力大臣のイラン訪問

11日、マシヤバネ国際関係・協力大臣は過去最大規模の代表団を率い、南ア・イラン第12回合同委員会会合に出席するためにイランを往訪した。イラン側のカウンター・パートは、モハンマド・ジャヴァード・ザリーフ外務大臣。同委員会共同コミュニケには、教育、保健、投資、鉱業、運輸、

農業、科学技術、エネルギーに関するイニシアティブが含まれており、南アは、イランに対し不正且つ不当に一方的に課された制裁に異を唱えている。更に、南アはイランが、近隣に原爆を保有する国が存在するにも関わらず、原爆の製造・保有を追求しない戦略的決定を行った国として認知している。

#### ●ズマ大統領のICGLR特別サミット出席

18日、ズマ大統領はマシャバネ国際関係・協力大臣と共に、アンゴラ・ルアンダでの大湖地域国際会議(ICGLR)に出席し、(ICGLR)特別サミットは実りある会議であったと述べた。本サミットで首脳達は、テロリズムの問題と同様に、コンゴ(民)、中央アフリカ、ブルンジ及び南スーダンを含む国々における治安情勢について議論した。

ブルンジに於ける現在の治安情勢について、ズマ大統領は、本サミットに於いて本クーデター未遂は強く非難されたと述べた。本サミットでは更に、ブルンジの全当事者が平和と安定の回復に向けて迅速に行動することが求められた。

コンゴ(民)について本サミットは、同政府がルワンダ民主解放勢力(FDLR)とコンゴ(民)東部に於ける他の否定的勢力を中立化することを励行した。

本サミットはまた中央アフリカ情勢についてICGLR/ECCAS(中部アフリカ諸国経済共同体)サミットを開催することで同意し、中アの次期選挙に向けて国民和解プロセスを促進することを励行した。

#### ●第9回南ア・インド合同閣僚委員会

19日、マシャバネ国際関係・協力大臣の招きに応じ、スシュマ・スワラージ・インド外相はインド・ダーバンを訪問し、第9回南アフリカ共和国・インド共和国間合同閣僚委員会の共同議長を務めた。議題は、政治・社会と経済・技術に大別され、コミュニケでは本年9月の国連70周年に向けて国連・安保理改革を推進しようとしている点、両国間の商用目的の入国ビザ発給拡大が特に注目される。

#### ●マシャバネ国際関係・協力大臣による予算演説

21日、マシャバネ国際関係・協力大臣は、ケープタウンに於いて予算演説を行った。従来の外交政策の基調と大きな変わりはないが、外交予算の減額に言及しているように、若干政治面よりも経済面についての比重が増加した。なお、同日、ランダース同副大臣及びムフェケト同副大臣も予算演説を行ったが、我が国に関する言及は特段なかった。

その他のポイントは、(1)アフリカ(大陸)が南ア外交政策の中心のままであること、(2)6月開催予定のAU総会は、ガバナンス、持続可能な発展及び平和・安全保障といった課題に焦点を当て、南ア外交の基軸であり、アフリカ大陸のビジョンであるアジェンダ2063実施に向けた政策・手段を決める予定であること、(3)本年は国連創設70周年。南アも国連特に安保理改革にとって重要な年と認識。アフリカも安保理で常任理事国の議席を得なければならないと承知していること等である。

#### ●ズマ大統領のナイジェリア大統領就任式出席

29日、ズマ大統領はマシャバネ大臣と共に、ハンマド・ブハリ・ナイジェリア大統領就任式に出席するためにナイジェリア・アブジャを訪問した。祝辞においてズマ大統領は、経済協力の強化に特に焦点を絞り、南アとナイジェリアの間に存在する良好な二国間関係を高めるためにブハリ大統領と緊密に協働していく約束を表明した。ズマ大統領はまたナイジェリアの独立選挙委員会によって宣言されたように、平和で、透明で、信頼性があり、自由で公正な選挙が実施されたとナイジェリア国民をお祝いした。ズマ大統領のナイジェリア訪問は、ズマ大統領が二国間の歴史的・戦

略的關係を更に強化するために、相互に懸案となっている地域的・国際的問題を議論するために理想的な機会であった。

### 3 経済

<経済指標>

#### ●経済成長

2015年第1四半期の南ア経済成長は、計画停電、需要薄、干ばつ、公共セクターでの辞職等が要因で減速した。南ア統計局によると、経済は前期から今年最初の三ヶ月にかけて1.3%増加。2014年第4四半期の4.1%からは減速した。また、対前年同期比(1.9%)でみると、今年第1四半期は2.1%増となった。先行指標は2月の98.7から3月には98.5に落ちた。農業は、干ばつの影響受け16.6%のマイナスと最悪となった。行政サービスで0.8%のマイナスとなったことは予想外であった。

#### ●雇用・失業

南ア統計局によると、2015年第1四半期の失業率は、昨年第4四半期の24.3%から増加し、26.4%となった。季節雇用の期間の終了により、多くの人々が新規雇用の機会を探す必要があったため、失業率は増加したと考えられる。拡張失業率(the expanded unemployment rate: 積極的に求職している者及びしていない者を含めた失業率)は36.1%と、1.5%上昇した。つまり、仕事のできた870万人が雇用につけなかったことになる。2008年から2014年にかけては、拡張率の上昇は、公式の失業率の上昇よりも高かった。これは、求職者の中で、落胆が広がっていることを反映している。インベスチックのエコノミストは、意味のある雇用創出のための見通しが弱かったと述べている。政府の公共サービスセクターでの今後二年間の雇用凍結はこの状況に拍車をかけると予想している。

<出来事>

#### ●電力

財務省によると、南ア政府は、電力生産者の資金を確保し、エネルギー危機を解決するために、Eskomの部分的な民主化か資産の一部を売却することを考えている。この提案書は、以前の計画を復活させたものである。財務省は、Eskomの制約されたバランスシートと政府の厳しい財政状況を鑑みると、全ての選択肢を模索する必要があると述べた。Eskomの非中核事業や発電所の子会社化や株式を売却することにまで思案が及んでいる。

#### ●原子力

ジョーマット・ピターソン・エネルギー大臣は、9600MWを発電する原子力発電所の調達を今年7月から始めると述べている。年末までには調達プロセスの結果が内閣に示されることとなる。実際の調達プロセスは競争力があり、公平で、透明性が有り、コスト効率の良い方法で、戦略的パートナーを選定すると大臣は保証している。しかし、野党議員は、政府がロシアと取引をしていることについて非難した。政府はベンダー各国と技術仕様などについてワークショップを行うなど様々なプロセスを実施していると述べた。これには、ロシア、中国、韓国、フランス、アメリカが含まれる。計画中の原子力プログラムは約4000億ランドから1兆ランドの費用になると見込まれる。

### 4 警備

22日、ヨハネスブルグ市ミッドランド(プレトリアとヨハネスブルグの中間地点)で開催中の汎・アフリカ議会に出席するため南アを訪問した使節団が、宿泊先ホテルに到着した際に、武装強盗団に襲撃される事件が発生した。犯行にはけん銃が使用され、当該使節団に係るパスポートや iPod、

ノートパソコン等が強奪された。国会・国際関係・協力常任委員会のマサンゴ（MrSiphosezwe Masango）委員長は、「こうした悪質かつ卑劣極まりない犯罪の発生が、国際社会における南アの信用を失墜させることになる」と、強い懸念を示した。警察では、空港からの追尾強盗の可能性があると見て、同ホテルまでのルートに設置された防犯カメラを解析するなどして被疑者の特定を急いでいるが、同月末日現在まで検挙等には至っていない。

空港からの追尾強盗については、ハウテン州において特に多く見られる強盗手口の一つであるところ、本年2月に南ア政府関係者をターゲットとするカージャック未遂事案及び在南ア・スロバキア大使夫人を被害者とする路上強盗被害が発生していること、さらには当地外交団に係る同種犯罪被害例が多数報告されていることに鑑みれば、強盗等凶悪犯罪は、そのターゲット、犯行場所・時間に関わりなく、広範囲かつランダムに敢行される傾向があると言える。

（了）